



議会だより だいせん

12
月定例議会

委員会活動報告 ... 4

一般質問で
11人が政策論争! ... 6

議会の体制を整えました
議長に野口俊明氏
副議長に西山富三郎氏 ... 18

ご意見を募集中!
みんなのひろば「声」 ... 裏表紙

No.19

2010年(平成22年)

2月12日発行

町の課題を熱く討論

12月定例議会は、12月10日から22日までの13日間の会期で開かれました。

平成21年度一般会計・特別会計補正予算、工事請負契約締結等の11議案、議員提案の5議案・1決議案を審議し、原案のとおり可決しました。一般質問では11人の議員が25項目にわたり

森田町長に諸問題をたずねました。

また、12月15日には、テレビ中継による大山町議会初の議会討論会を開き、大山町にとって重要な課題である「地域自治組織の取り組み」と「地域産業の活性化」について、熱い討論を交わしました。

12月定例議会

新型インフルエンザ予防接種 補助金制度の充実へ



新型インフルエンザ予防接種

平成21年度大山町一般会計 補正予算(第5号)

大山小学校大規模改修工事

西山富三郎議員

教育委員会は、地域教育の責任機関である。この根拠、根拠に基づいての提案か。また決意は。

答 狩野教育次長

平成18年の大山町総合計画を作った時から、町内の子どもたちの教育環境をできるだけ良好で同じ状況にという思いで順次進めている。

定だが、耐震補強工事に2000万円、改修工事に1億3000万円の予定。改修は、管理棟・教室棟・体育館を予定。

問 鹿島功議員

財政が厳しい中でも、最低限のことはしなければならぬ。

答 狩野教育次長

耐震工事は納得するが、大規模改修工事は、発注し、立案された中の結果しか出てこない。こういう提案でいいのか。

この提案は、十分な事前説明が不足していた。教育委員会を含めお詫びをする。事業内容は財政と相談し、大規模改修の中で、合併特例債を使い、持ち出しの少ないよう検討を重ね、提案している。

問 岩井美保子議員

大山町総合計画に耐震工事はあるが、大規模改修工事はない。合併特例債もいざ借金。財政は大丈夫なのか。

答 田中総務課長

合併特例債の町の枠は、約100億円の事業費だが、現時点では40数億円の使用状況。新町まちづくり計画や大山町総合計画の中にある事業は、合併特例債を活用している。充当率が95%で交付税措置率が7割。十分な精査により財源充當を行う。

問 杉谷洋一議員

財政上のこともよく

大山小学校の大規模改修工事等を審議

野口昌作議員

債務負担行為(※3ページに解説)900万円の内容は。また、当初予算はどのくらいか。

答 林原学校教育課長

900万円は設計委託料を見込んでいます。設計段階なので、不確

問 野口昌作議員

債務負担行為(※3ページに解説)900万円の内容は。また、当初予算はどのくらいか。

答 林原学校教育課長

900万円は設計委託料を見込んでいます。設計段階なので、不確

答 狩野教育次長

大山町総合計画の中では2億程度と見込んでいます。厳しい財政状況なので、極力コストを抑え、最低限のこととは行いたい。設計後、工事着手までに再度相談をかけた。

答 森田町長

設計段階なので、不確

わかるが、子どもたちに平等な教育を与えることが大事だと思うがどうか。

答 山根教育長

教育委員会は教育環境・教育条件の整備を考えなければならぬ。がんばっていく。

問 大森正治議員

この改修は必要である。21年2月の「小学校のあり方」の中に、大規模改修について計画している。内容は。

答 狩野教育次長

平成18年に作成した基本計画に耐震補強大規模改修をのせている。20年の実施計画には反映できなかったが、21年2月に、大山地区の小学校は2校の体制が望ましいと教育審議会が答申し、21年に作成した実施計画には、環境整備の内容をのせている。20年になかったのは、今後のあり方が未定だったので、耐震補強しかあげてなかったということ。

問 野口俊明議員

どこまでが執行部にとって変更の説明を求めない軽微な

※用語解説 【債務負担行為】
・将来にわたる債務を負う契約を結ぶこと(地方自治法第214条)



大規模改修を計画中の大山小学校

ものなのか。1億3000万円というのは、事前に説明があるべき問題と考える。

答 野間企画情報課長

教育委員会は(※)債務負担行為について執行部と事前に相談し、議会には説明は必要がないとの判断か。基本計画の内容も、明確な説明を求めたい。

答 森田町長

すべからず予算関係は執行部から議会で提案をするもので、事前説明や質疑の中でな。指摘事項は反省し、取り組みを詰めた。

答 山根教育長

急な提案をし、さまざまな面での説明不足を重々反省し

の内容は。まちづくり推進員(以下、推進員とする)の仕事の内容、任務の重さの理解度は。また、決まっていな地区への手立ては。

答 森田町長

住民に軸足をのいた視点のまちづくりを進める中で、10月下旬に研修会を行った。約100人(推進員・区長)の参加があり、お願いと取り組み手法の勉強を行った。最終区長会、年明けの区長会で推進員選出のお願いを行う。

答 野間企画情報課長

総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の3つの計画から成り立っており、基本構想の部分は議決事項。それに基づき、5年間の基本計画を立てている。向こう3年間の実施計画を毎年度策定することで予算編成の指針とし、基本構想、基本計画の着実な実現を図る。今年度は、先日程策を、その計画が現行の実施計画。

答 野口俊明議員

所長報酬、生活相談員報酬の減額があるが、予算残額は。また、今後は。

答 近藤人権推進課長

所長報酬、生活相談員報酬の減額があるが、予算残額は。また、今後は。

討論

反対 野口昌作議員

21年の11月に、実施計画がなされ、議会にその説明がなく、突然この債務負担行為、来年度の事業実施を前提とした設計委託料が提案された。これは議会軽視であり、また、設計委託をし、それが実施されない時は、町の行政・教育行政不信にもつながる。工事改修内容は、実施すべきと思うが、大山小学校が36年に建築されて現在まで避難口が不備だったという事態は、非常に遺憾に思う。

賛成 足立敏雄議員

教育行政は、非常に範囲が広く、保育所再編の問題等、今後お金を必要とする。財政をもっと大事にしてほしい考えからこの補正予算に反対する。

山陰道の早期完成に向け意見書を提出!

大山町議会は、議員提案により、次の意見書を国に提出することを全会一致で可決しました。

(概略)

- ① 「名和・淀江道路」の未供用区間及び「中山・名和道路」の一層の整備促進。
- ② 新直轄方式導入などあらゆる方法で当初の計画どおり7年以内に供用開始。

宛先 内閣総理大臣・国土交通大臣・財務

委員会のうごき

経済建設常任委員会

12月16日と17日の2日間、付託された陳情1件と所管の事務調査及び3か所の現地調査並びに2団体との意見交換会を行った。

(大山振興課)

準備進む加工所

補正予算で農産物加工所に新たに備品購入費550万円支出することについて聞き取りをした。

説明では10万円以内の厨房機器が多数あり、これは加工所建設費に含むことができない。

ごみ置き場の建設が予想以上に高額なことも指摘し、説明を聞いた。

(観光商工課)

お買い物券の効果は

今年度商工会と実施したお買い物券はおおむね好評に販売できた。しかし、目的であった町内商店の売上向上



JA各支所長との意見交換会

(水道課)

うれしい誤算

補正予算の汚泥処理料(99万円)の増額は名和地区の加入者が予想以上に多かったためのもので、中山地区で下水道に異物混入事故が多発のため次年度の維持管理費の増加が予想される。

(農業委員会)

これからの委員会は

農業委員会のあり方を考える特別委員会を、各地区3名と会長・会長代理の11名で立ち上げた。

農地パトロールを実施し、耕作放棄地解消に向けて農林水産課と連携して対応する。

(現地調査)

建設課関係では、御来屋漁港団地の外装傷み具合を確認し、工事の内容を聞き取りした。また、ナスパルタウンに温泉を供給する給湯施設工事場所の視察をした。

農林水産課関係では、12月補正予算化した御来屋漁港の荷揚げ場工事変更の概要を視察した。

(団体との意見交換会)

12月17日にJA鳥取西部大山町内各支所長18日に大山町商工会と経済建設常任委員会の意見交換会を開催した。JAは今後の農政について政権交代によりいまだはつきりと明言できないでいる。

また、今年度まで行ってきた米の生産調整事務を農政事務局が受け持つ予定であるが、実際どこが受け持つのか不明である。

恵みの里公社の運営は、大山ブランドを作り出す思いは同じであり、町内3支所に協働体制をお願いし快諾を得た。大山町商工会は、お買い物券のプレミアム部分保証協会の金利負担等お礼をいただき次年度事業の要望を受けた。また、海外からスキーの問い合わせがあることの報告も聞いた。

総務常任委員会

12月16日から2日間、陳情7件の審査及び所管の事務調査を行った。

(総務課)

大山第4分団の増設

住民の生命財産を火災の被害から守るのが消防団の役割である。大山地区には現在3つの分団があるが、町外勤務者が多く、平日・日中

の火災には即応できないことが多いため、役場職員有志で新たに第4分団が設立される。大山支所敷地内に、消防車庫を新設、旧大山町出身の職員14名が団員となる。第4分団の正式な発足

(人権推進課)

小地域懇談会

小地域懇談会は、あらゆる人権問題を話し合うために、町内の全集落で実施されている。例年11月から行われるが、今年度は、推進体制のあり方について、執行部と職員との協議が遅れ、ほぼ一か月遅れての実施となった。

参加者が固定化している傾向や、テーマの選び方についての賛否もあり、事業継続の是非について議論した。

(地籍調査課)

山林の境界調査

地籍調査事業の完了には、今後まだ20年以上かかることが見込まれる。資産としての価値が低下している山林は、所有者が十分な管理をしていない場合も多く、今後、境界確認が難しくなることが予想される。

森林区域の地籍調査を円滑に進めるため、森林組合とも連携し、本格的な調査前の境界調査を順次進めていきたい。

教育民生常任委員会

12月11日から2日間、付託された陳情3件と所管の事務調査並びに小中学校PTA(PTA連絡協議会)との意見交換会を行った。

(診療所事務局)

診療所間の連携

3診療所の合理的な運営のため、看護師や事務員の応援体制を整え連携している。医療事務改善のため、オンライン請求が可能ならレセプトコンピュータを導入した。

(福祉保健課)

新型インフルエンザ

予防対策として、2回接種が必要である子どもや妊婦に補助枠を拡大した。個人負担金は1回1000円となっている。

(住民生活課)

消費者行政業務

「消費生活相談窓口」を設置している。トラブルを未然に防ぐため、悪質商法の啓発パンフレットの配布や防災無線等を通じて啓発に努めている。

(教育委員会)

保育所再編

平成21年10月20日、保育所再編検討委員会を設置。各地区に分かれて協議を重ねている。

【基本方針】
○各地区に拠点保育所を設置し、最終的には1、2園とする。

大山小学校

築30年を経過しており、管理棟部分の老朽化が著しい。
また、管理棟や体育館に漏水がある。漏電の可能性もあり、耐震補強及び大規模改修工事が必要とされている。



小中学校PTAとの意見交換会

○拠点保育所に子育て支援センターを併設する。
【今後の予定】
○2月までに協議を終了する。

○各地区で町民対象の「意見を聞く会」を開く。
以上の経過を経て、教育委員会の方針を決定する。

また、管理棟や体育館に漏水がある。漏電の可能性もあり、耐震補強及び大規模改修工事が必要とされている。



無事故・無災害を願います

あなたの声を町政に

一般質問は、11人の議員が25項目にわたり諸問題をただしました。紙面の都合により、要約してお知らせします。

一般質問項目一覧表

- ◆杉谷 洋一 議員 7
 - 1. 太陽光発電の普及は
 - 2. 集落消防の施設整備は
- ◆米本 隆記 議員 8
 - 1. 恵みの里公社の運営と補助金について
 - 2. 職員の意識向上について
- ◆諸遊 壊司 議員 9
 - 1. 大山恵みの里公社「道の駅」の収支状況は
 - 2. 農産加工所について
 - 3. 山香荘グランドリニューアルについて
- ◆竹口 大紀 議員 10
 - 1. 大山町独自の施策
 - 2. 中学校の合同活動
- ◆野口 昌作 議員 11
 - 1. 新年度当初予算編成を行なう町長の考えについて
 - 2. 水道事業会計の財政健全化に向けて
 - 3. 中海テレビの大山町チャンネルの充実と健全運営について
 - 4. 大山ファンクラブの充実とふるさと納税制度の啓発に向けて
- ◆吉原 美智恵 議員 12
 - 1. 大山町における介護保険制度の取り組みは
 - 2. 大山町での小中連携の取り組みは
- ◆西山 富三郎 議員 13
 - 1. 住民と自治体について
 - 2. これからの人事政策について
- ◆鹿島 功 議員 14
 - 1. 大山町国内交流事業及び国際交流事業の今後のあり方について
- ◆池田 満正 議員 14
 - 1. 障がい者の通所施設ほっとサロンの今後について
- ◆大森 正治 議員 15
 - 1. 国民健康保険税の引き下げは可能
 - 2. 小規模作業所の存続のために
 - 3. 全国学力テストには不参加を
- ◆近藤 大介 議員 16
 - 1. 農産加工施設の建設について
 - 2. 大山恵みの里づくり計画と大山恵みの里公社の関わりについて
 - 3. 山香荘でのサッカー場整備について

本庁舎から御来屋漁港を望む



杉谷洋一議員

問 太陽光発電はクリーンな太陽エネルギーを使用するため、温室効果ガスを排出しないエネルギー源であり、地球温暖化対策の有効な手段としての位置づけが、ますます高まってきている。

町長

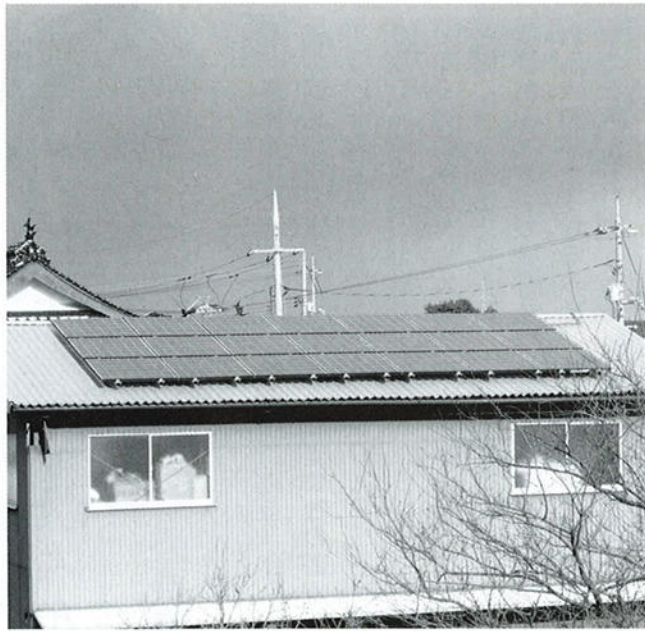
太陽光発電の普及は

着実に推進している

般住宅及び公共施設に、どのように普及を進めていくのか。

答 森田町長
太陽光発電の普及は本町の新しいエネルギープロジェクトの一つになってい

今年度名和小学校に設置する予定だが、他の施設については財政状況を勘案しながら考えている。



普及が進む太陽光発電

る。国の行政刷新会議が行った事業仕分け作業では、「一般住宅用の国の補助事業は電力会社が発電した全量を倍額買い取りする」ということで、来年度の予算措置が見送りとなった。しかし、最終的にはどうなるのか未定であるが、現行制度では仮に来年度国の予算がつかなければ、本町の補助も受けられなくなるので、今後の国の動向を注視しながら単独での補助制度も検討したいと考えている。また、今年度、一般住宅用は15件の申請があり、本町でも着実に普及してきている。

問 集落消防は、住民の生命・財産を守り初期消火を目的に小型ポンプ・防火用水・水利を使用した用水路・消火栓など、消防用施設を点検を定期的に実施しているが、ホースな

集落消防整備の補助率アップを

町長

従来の助成制度で対応

どの消防施設が老朽化し、維持管理に要する費用が大きな負担となっている。

答 森田町長
消防施設整備の充実を図るために補助率をアップし、万全な対応をすべきではないか。



小型消防ポンプの点検

火災等があったとき、広域消防が来るまでの初期の消火は重要であり、大きな火災にならない対応だと思っていない。また、財政的なこともあり、施設整備費補助金の補助率1/2や自主防災組織の育成に対する助成制度の施設整備事業等を活用し、計画的に優先順位をつけ、ホースなどの更新を毎年行い、消防施設を整備等の充実をお願いしたい。



米本隆記議員

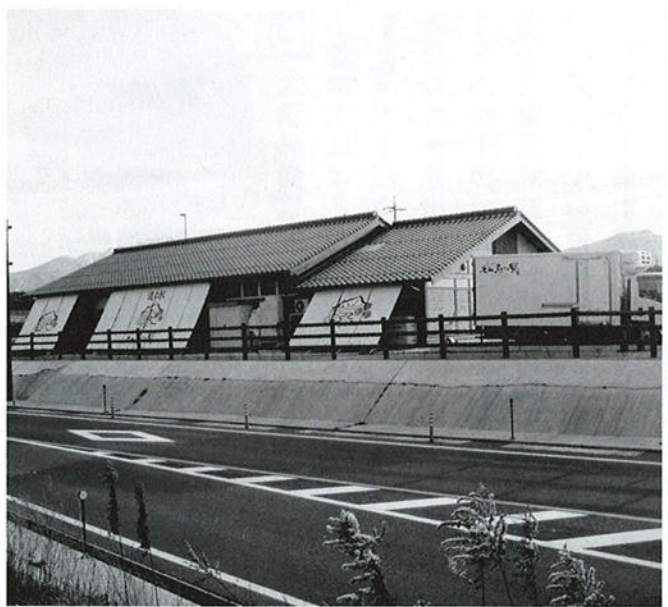
町長 公社への補助金は必要最小限の範囲で

問 農産物加工施設には国の緊急雇用対策として平成22年度より2年間1000万円ずつ、合計2000万円が交付される。これは交付金の趣旨から加工所で雇用される人の賃金になるべきものと考える。農産物加工施設の年次計画を見るに採算性はどうかの不安な面がある。今年度、恵みの里公社の運営に約2000万円、指定管理料に約1000万円の補助金を町より支出しているが、公社全体に及ぼす影響も考えれば次年度以降補助金の増減を含めどうするのか。また、このように高額の補助金を公社運営に支出するのであれば、運営に議会の意見を反映させることも必要

答 森田町長

今年度、恵みの里公社には2293万円の公社運営費として予算化している。他に観光交流センター道の駅の指定管理料として1068万円、農産物加工所の開設準備委託料として273万円を予算化している。次年度以降は収益を生まない公社事業には従来通り必要経費は必要最小限を助成して行く。道の駅の指定管理料は国の交付金事業の継続適用を受けると共に、公共施設の部分は今年度の実績を精査した上で算定する。

公社運営には議会議員が副理事長に就任しているが副理事長の見解は反映していると認識している。



山陰道からもわかりやすくなった道の駅



諸遊壊司議員

町長 道の駅の収支状況は おおむね順調な運営

問 ①平成21年4月にオープンした道の駅「大山恵みの里」は、町民のさまざまな意見の中スタートした。町より補助金2000万円が支出されている。これまで一度も町民に来場者数・収支状況が示されていないが、現時点での現状と課題は。②他の施設・事業にも町から補助金・管理委託

答 ①「道の駅」の11月現在で、物販・飲食部門の売り上げが8200万円、営業利益は800万円である。流通部門では、料を支払っているが、その収支報告の義務付けや公表するシステム作りが必要ではないか。

②取り組みができるかどうか検討してみたい。

答 田中総務課長

②随時の収支報告・誘客数の報告は常に求めているが、町民に公表はしていない。



新鮮野菜がそろう道の駅

農産物加工所は成功するか

町長 受託商品からスタート

問 農産物加工所の安全祈願祭が11月24日に行われた。平成22年の4月オープン、6月のフル操業

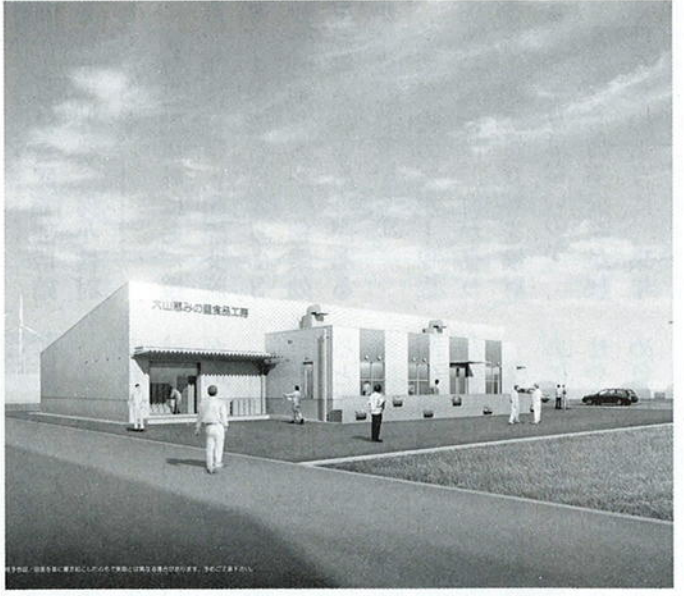
に向けていよいよスタートを切った。農・商・工連携の主たるものもある。農家所得向上のためにも是非成功しなければならぬ。

①町内の農家所得の向上はどのくらいになるか
②学校給食への供給は計画にはないが、なぜか。地産地消が第一原則ではないか。
③町長の赤字は出さないという強い意志は理解する。新規に就任された専務理事の人員費が年間約1000万円となるが、町民が理解できると思うか。

答 森田町長

①初年度の売り上げ目標を約6000万円としており、約1000万円が町内の所得につながる。従業員の習熟が期待できる受託商品の製造から安定操業を始める。その後独自ブランドの製造を行う。安定してから公共性の高い給食用食材の加工を始める。

③加工所の運営・道の駅・流通関係等の体制強化を考え総合的に判断をし、公社の役員・評議員会で結論を出した。



農産処理加工施設完成イメージ図

職員の人権意識は

町長 さらに研修を進める



研修会により資質向上を図る

問 名和地区の同和問題小地域懇談会の研修会に管理職と一部の一般職員が参加していた。参加者からの問いに人権推進課は、一般職員は自己の判断で小地域懇談会への参加・不参加を決めていると回答した。人権推進の町として条例も制定し広く町民に周知、参加を願う行政の職員としていかなるものかと感じた。また、例年より大幅に遅くなったために年末に向かつて懇談会の開催ができていないという集落もあるようだ。当初10月に予定されていた研修会が延期になった理由は、職員の協力、同意を得るのに手間取ったと聞く。町職員は行政を担い、町民をリードする立場と考える。町長は行政を預かるトップとしてこのことをいかに思うのか。また、職員教育はどのようにしているのか。

答 森田町長

全体の奉仕者として町民から信用・信頼される職員でなければならない

と考える。そのためには、より一層町職員としての資質の向上を図っていくことが必要であると認識している。しかし、職務でないために時間外手当を支給していない現状では本人の同意を前提にしていてやむをえないと考える。今後の推進形態について関係部署と研究・協議をしていく。

職員教育は研修を主体に取り組み、階層別や課題別の選択研修を委託して実施している。人権にかかる研修は自前で年1回実施している。

サッカー場の計画は

町長 具体的な検討に至っていない

問 ①山香荘のグラウンドを人工芝にしてサッカーの練習場にする計画があるがその費用対効果は。②選挙公約に「ハコモの行政を変えます」と主張したが、ハコモの行政の典型ではないか。

答 ①山香荘は昭和57年にオープンしたが、現在は利用者の固定化による収入の伸び悩み、施設の老朽化による維持費の増加が問題である。費用対効果の具体的な検討には至っていない。

②施設は活用があるなら、必要である。



竹口大紀議員

来年度の施策の目玉は

町長 住民自治組織に力を入れる

問 町長就任後、半年以上経過しているが、目立った施策がない。就任後には思ってもみない問題が出てきたり、思うような運営ができなかったりする場合がありますか。

① 予算の組み替えなどで、独自の施策がもって実行できたのではないかと。来年度、どのような

事業を計画しているか。
③ 大山町独自の施策をアピールすることで、移住者・定住者の増加につなげるような考えはあるか。
④ 来年度、一番力を入れる事業は何か。

答 森田町長

① これまでの町政の取り組みの検証が第一。その他、補正予算や臨時交付金でさまざまな事業を行った。
② 歳入の大きなウエイトを占める地方交付税の交付額が予想できない。しかし、若者向けの町営住宅や分譲地の整備、拠点保育所の整備、住民自治組織の育成支援に取り組むたい。
③ 中山地区に、若者の定住促進につながる町営住宅の整備や、大山地区に若者向けの宅地分譲を計画している。
そこから、子どもが増えていくような方向性が出てくればと期待している。
④ 住民自治組織の育成をはじめ、地域の活力づくり等に力を入れたい。



地域の課題をみんなで話し合う

3 中学校の合同活動は

教育委員長 柔軟に検討する

問 ① 3校合同で部活動を行うことを、何か検討しているか。

② 部活動以外にも、授業・学校行事・国際交流等、1校で行うよりも3校で行った方が、相乗効果が得られるものがあるが、検討しているか。
③ 中学生のスポーツ振興等のために、町がクラブチームの設立等を検討するつもりはないのか。
④ 子どもの選択肢が狭くならないように、来年度はどのような検討や協議

答 伊澤教育委員長

① 運動部では、3年生が抜けて、1・2年生だけでは人数が足りない部があるのが現状。合同での大会出場や休日を利用した活動はできると考えるが、平日に行えば、移動手段や移動時間の問題と、管理の問題が生じる。
② 合同で行事を行うためには、事前の打ち合わせや練習が必要になるため負担が大きい。
国際交流についてはも



子どもに広い選択肢を

答 山根教育長

① 運動部では、3年生が抜けて、1・2年生だけでは人数が足りない部があるのが現状。合同での大会出場や休日を利用した活動はできると考えるが、平日に行えば、移動手段や移動時間の問題と、管理の問題が生じる。
② 合同で行事を行うためには、事前の打ち合わせや練習が必要になるため負担が大きい。
国際交流についてはも
③ 現状では難しいと思う。学校と保護者と生徒の要望をまとめるのは容易ではない。
④ 校長以下、保護者を含めて多くの人が問題視している。教育委員会も配慮したい。



野口昌作議員

新年度予算の理念は

町長 大山の恵みで元気なまちづくり

問 ① 合併後4年間で、1000人、1か月に20人、3か月に1世帯が減少している。新年度予算編成の理念は。
② 人口減少により弱体化している集落がある。担当職員を置くことを考えないか。
③ 水田利活用自給力向上事業が始まり、バイオ燃料米などに10a当たり8万円の交付金が支給される。農家経営の安定、環境に優しい町の実現に向けて、バイオ燃料抽出プラントの建設に関する調査など行わないか。

④ 商工業振興策で地域経済活性化特別お買物券の発行、施策と予算化は。⑤ 町報8月号「歩くプール建設の中止」の記事で、「幅広い介護、健康増進」と述べ、議会とも

答 森田町長

① 政府の予算編成を注視し、健全で安定的な町政確立、行財政改革、限りある財源の効率的活用、少子高齢化施策、地震対策、防犯、防災対策等、「大山の恵みを受け継ぎ、元気を拓くまちづくり」に積極的に取り組む。
② 集落の健康診断、行政と協働できる「まちづくり」を推進するため、職員の班編成をし、活性化を支援する計画をしている。
③ バイオ燃料抽出プラントの調査は検討する必要があると思う。国の方針が確定していない現状では、建設についての計画は考えない。
④ 企業支援、雇用支援、住民生活支援の3つの柱を基本とする。財政の許すかぎり支援したい。
⑤ 中山温泉エリア魅力発信の取り組みは、高規格道路の進捗と合わせ、文教と福祉の視点で検討したい。
⑥ 機器を購入される場合の一部補助制度を検討している。
⑦ 週一回パン給食を実施している。麦粉パンは約43円、米粉パンは約64円である。検討したい。

大山チャンネルは今以上の発信を

町長 内容の充実をめぐる



大山チャンネルの編集

問 予算は年間約3億円である。町からのお知らせ、議会の実況中継、イベントなどが放映され、町と町民を結んでいる。今以上の情報発信を考えねばならない。

① イベント放映の活性化に向けてボランティアの投稿者の募集
② 研修を行い協力者の態勢整備
③ 町内の諸問題についての討議
④ 各課の仕事の近況

答 森田町長

① 予算の状況・生活向上に向けての実践例
② 農業技術の実況中継などに取り組んではどうか。
情報通信事業は、都市部との格差を是正することであり、その環境を全町に整備することを目的として進めた。その後、ケーブルテレビも難視・難聴対策として副次的に



吉原美智恵議員

介護サービスの今後は 施設の充実をはかる

町長

この制度が導入された
が、現状の課題は。
また、高齢者が地域
で自分らしく生きられ
在宅介護になっても暮
らし続けられる仕組み
づくりとして「保健・
医療・福祉連携体制づ
くり事業」が検討され
てきているが、その進
み具合は。

答 森田町長

この制度の現状は、
高齢化と、施設制度の
充実により、介護サー
ビス利用者、給付費
が年々増加している。
平成18年度の法改正
により、介護予防をよ
り重視したシステムの
転換や、地域ケア体制
の整備等の施策を講じ
ることとなった。
現状では、増加する
重度要介護者の抑制や
介護サービスの適正化
予防事業の推進が課題
である。
「保健・医療・福祉
連携体制づくり事業」
は、協議会で具体的な
検討を進めていく。



すこやかな毎日を

小・中連携を進めては 手立てを考えたい

教育委員

問

町報に「全国学力・
学習状況調査」の結果
がのっていた。
その中で、生活習慣
や学習状況調査におい
て、小・中ともに共通
点が見られた。
家庭生活を基本とし
ながらも、系統的かつ
継続的な指導を行うた
めに、小・中連携を進
めていってはどうか。
また、愛媛県松山市
の山間地の学校では、
小・中一貫教育に挑戦

答 伊澤教育委員長

小・中の連携は重要
であり、これまでも取
り組みを進めてきたが、
現在では校区外の生
徒を70%も集め、生き
生きとした学校運営が
進められている。検討
してはどうか。



子どもに明るい未来を

問

介護保険制度は、
自治体の自己決定、自
己責任において運営で
きる自治事務である。
本町は、急速な高齢
化と核家族化、高齢者
のみの世帯の増加等、
年々深刻さを増してい
る。高齢者の介護を支
え合う仕組みとして、

答 森田町長

この制度の現状は、
高齢化と、施設制度の
充実により、介護サー
ビス利用者、給付費
が年々増加している。
平成18年度の法改正
により、介護予防をよ
り重視したシステムの
転換や、地域ケア体制
の整備等の施策を講じ
ることとなった。
現状では、増加する
重度要介護者の抑制や
介護サービスの適正化
予防事業の推進が課題
である。
「保健・医療・福祉
連携体制づくり事業」
は、協議会で具体的な
検討を進めていく。



西山富三郎議員

町長となった責任は 責務を果たすことである

町長

答 森田町長

①就任8か月、行政
の責任とは。
②町民の付託にどう応
えるか。
③集落間と行政におい
て、信頼関係を失うよう
な現象はないか。
④各種団体とどのよう
な懇談会を行ったか。
⑤まちづくりの潮流を
どう受け止めているか。

①私や職員が町民から
託された任務を果たす責
務であり、果たせなかつ
た時には制裁を受ける責
務も含まれる。
②今後4年間、町民の
意思・要望を十分に反映
させた町政を進めたい。
③前町政で進める予定
だった地域自治組織の育
成の面で「区長」・「ま
ちづくり推進員」の足止
めをしたことは認める。
④各種団体の総会や町
内のイベントで、幅広く
町民と接する機会を得た
意見も多く聞くことがで
きた。出前講座としては
町婦人会との懇談会、企
業関係では、関西地区の
誘致企業訪問、企業交流
会、東京県人会との交流
など活性化を図った。
⑤「農産物処理加工施
設」が核施設として機能
することで、基幹産業で
ある農水産業者の意欲的
な生産活動につながり、
私の最重要課題としてい
る。

これからの人事政策は

町長 改革の側面は3点ある

問

①公務員改革をどう
進めるか。側面をどうと
らえているか。
②人事政策の視点は。
③意識行動の改革は。

答 森田町長

①改革の側面としては
(イ)制度自身の改革
(ロ)制度の運用に関す
る改革
(ハ)公務員自身の意識・
行動の改革
の3点がある。
最近の潮流としては、
年功序列主義から能力・
業務主義である。本町で



今後の人事政策は？

は、平成22年度から勤務
手当への反映、さらには
昇級昇任への拡大を考え
ている。
②(イ)個々の職員に
着目し、一人ひとりの能
力を活かす
(ロ)若い力を活かす、
中高年の知恵と経験を活
用
(ハ)個々のコスト意識
の涵養
(ニ)公務員としての誇
り、士気とモラルの向上
(ホ)努力した者が報わ
れ、努力しない者との差
が出る処遇
このような視点が必要
と考えている。
③(イ)自分の仕事の
殻をつくり、担当事務以
外はそっぽを向く
(ロ)意思決定が遅く、
事務処理がノロノロして
いないか
(ハ)コスト意識がなく、
公私混同の行動が目立た
ないか
(ニ)給与相対分、フル
パワーで働いているか
(ホ)町民を向いて仕事
をしているか
などの視点でとらえ、
いわゆる「お役所仕事」
の払拭をし、意思決定の
迅速化、時間外勤務の縮
減、能率よく仕事を進め
た職員のプラス評価をし
ていくことなどである。
今後、任された期間、
町民の福祉の向上のため
さらに改革を進めたい。



区長会で説明する町長



鹿島功 議員

国内・国際交流は 質の向上をめざす

問 ①国内交流の大阪・東京ファンクラブ事業は、従来どおり推進するといっている。

現地での会員出席を見ると旧大山町出身者が少ない。執行部は声かけをしていないのか。

②21年事業のアメリカ・テメキュラ市を交流訪問

しての感想は。合併後5年になる。国際交流の検証の時期ではないか。

③中山国際交流協会、大山町日韓交流協会等の位置づけも再考すべきではないか。

答 森田町長

①大阪・東京の会員に故郷の情報提供や、大山ブランド品のPR、販路拡大にも力添えをいただいている。Iターン、Jターンの働きかけになればと期待している。

大山地区の参加者が少なかつたことは、反省している。今後も事業を継続したい。

②この度のテメキュラ市、昨年の韓国ヤンヤン郡は、旧町時代からの信頼関係にもとづいて交流が続いていることを体感した。今後、中学校国際交流も含め、より質の高い交流を目指したい。

③中山国際交流協会が果たした役割は大きかつたと理解している。大山町日韓交流協会とあわせ、企画情報課で検討している。



交流の検証は？



池田満正 議員

「ほっとサロン」の今後は 町長 通所条件は関係者の判断で

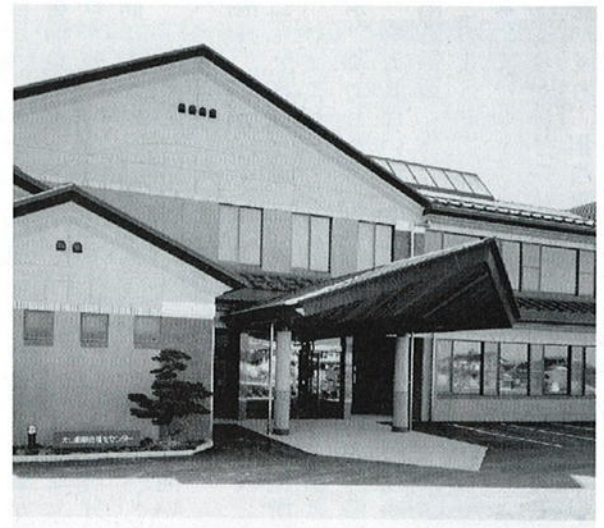
県で1/2ずつ出ている。今後の方針は。

答 森田町長

①障害者自立支援法により「障害福祉サービス事業者の指定を受けた事業者は、障害の種類にかかわらず、利用者を受け入れることが基本」とされている。しかし、ほっとサロンは、この法律の「障害福祉サービス事業者」に指定されておらず、3障がいを受け入れる義務はない。現在は、精神障がい者を主としながら、

知的障がい者も対象としているが、身体障がい者の受け入れ予定もあると聞いている。通所条件は、町でなくほっとサロンの関係者の判断で対応されるものである。

②町では県の制度の「小規模作業所運営補助金」をほっとサロンへ補助金として交付している。今後も町と県で1/2ずつこの制度にそって補助金を交付していく。町としては、経営主体である家族会の意向を尊重しながら、可能な支援をしていきたい。



ほっとサロンがある保健福祉センターだいせん



大森正治 議員

国保税の引き下げはできる 町長 むずかしい

問 「国民健康保険税は高い。引き下げてほしい」という声は、低所得世帯ほど切実な願いである。国保税の滞納者は平成21年6月現在379世帯(国保加入者の12.7%)、短期保険証と資格証の発行世帯は同年4月現在316世帯(同10.6%)ある。これは、経済情勢の悪化と相まって国保税

が高くて払いたくても払えないという状況を物語っている。

①1億円以上もの繰越金があるのは、取り過ぎだからだ。余った返すのが当然。基金も3億8000万円もある。1億円を取り崩すだけで、一人1万円の引き下げが2年間可能である。

次年度の国保税は引き

下げるべきと考えるがどうか。

②国保税が高い元凶は、国庫支出金が1/2から1/3に減ったことにある。元に戻すよう自治体として国へ制度改善を求める考えはないか。

③今年度は負担増を抑えるため税率・税額を抑えた。それによる不足分は繰越金を当てるので、単年度収支はマイナスになる見込み。基金の取り崩しもありうる。所得状況、国の補助金、繰越金等を勘案しながら来年度の税率を試算する。

答 森田町長

全国学力テストには不参加を	
教育委員長	参加したい



よりよい教育は？

問 全国学力・学習状況調査(学力テスト)は今年度まで3年間実施されたが、政権が代わって来年度から抽出調査に変わることにした。その調査への事前の意向調査にどう回答したのか。

このテストには効果もある反面、序列化による弊害を生み出すことにもなる。実際に反教育的な事例が出ている。

プラス面といわれる生活習慣と学力との相関関係については、1回やればわかることであって、

すでに必要なデータは得られた。だから、全国学力テストに参加する必然性はもはやない。

抽出調査の対象外になった場合でも、このテストに参加する意思があるのか。

答 伊澤教育委員長

事前の意向調査では、「参加すると返事した。テストの調査結果を、家庭や地域と共有することとで新しい連携の動きが

出てきており、好ましいことと評価している。基本的には、前向きに参加したいと考えている。

また十分ではないと思っ

ている。教育にも適正な競争は刺激を与え、大切なことと思う。

答 山根教育長

このほかに、小規模作業所「ほっとサロン」の存続を求めて質問した。



よりよい国保制度を

みなさんからの陳情はこうなりました

12月定例議会で常任委員会に付託された陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

陳情の件名	陳情者等	委員会の意見	付託委員会名	審査結果
談合・不当な裏金分配により大山町が受けた損害回復に関する陳情	大山町 坂田丈夫	指摘のあった不法行為の事実は確認できない。全会一致で不採択と決した。	総務常任委員会	不採択
脳卒中対策基本法の早期制定について(陳情)	倉吉市 石田政彦	脳卒中予防は大きな課題である。効果的な薬も開発されており、啓発や救急搬送体制の整備が求められている。全会一致で採択と決した。	教育民生常任委員会	採択 (意見書提出)
改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情	鳥取県労働者福祉協議会 理事長 安田邦夫	借り側の責任もあるが、ヤミ金融の撲滅は必要である。全会一致で採択と決した。	総務常任委員会	採択 (意見書提出)
EPA・FTA推進路線の見直しを求め日米FTAの推進に反対する陳情	農民運動 鳥取県連合会 代表 東田久	EPA・FTA交渉は農産物の関税を撤廃することが目的であり、日本農業に壊滅的な打撃をもたらすことが懸念される。全会一致で採択と決した。	経済建設常任委員会	採択 (意見書提出)
貴自治体における平和教育の推進を求める陳情	反核・平和の火リレー 鳥取県実行委員会 実行委員長 足立崇	平和教育の推進は、すでに十分取り組まれているが、戦争体験を風化させてはならないという意見が多く、賛成多数で、採択と決した。	総務常任委員会	採択
島根原子力発電所の早急な耐震補強対策と原子力に依存しないエネルギー政策の転換を求める陳情	反核・平和の火リレー 鳥取県実行委員会 実行委員長 足立崇	原子力発電所の安全性には、最大限の配慮が求められるが、原子力を用いないエネルギー政策への転換は、現時点で現実的ではないため、多数決の結果、不採択となった。	総務常任委員会	不採択
町民参加の仕組みの構築に関する陳情	大山町 佐伯祐治	住民の声を行政に反映する住民参画のまちづくりには、町民、議会、行政の意見交換は、できるだけ多い方がよい。全会一致で採択と決した。	総務常任委員会	採択
後期高齢者医療制度の即時廃止に関する陳情	全日本年金者組合 鳥取県西部支部 支部長 増田修治	国としても現行制度の問題点を是正してきており、すべての人の保険料が上がったわけではない。財政面にも不安を生じるため、全会一致で不採択と決した。	教育民生常任委員会	不採択
消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県西部支部 支部長 増田修治	少子高齢化が進む中、現役世代の負担は重くなっている。年金制度の財源を確保するため、消費税の除外は妥当ではない。全会一致で不採択と決した。	総務常任委員会	不採択
2010年度年金の減額改定をおこなわないことを求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県西部支部 支部長 増田修治	現行の給付水準を維持するための財源をどう確保するか、判断するのは困難であり、全会一致で不採択と決した。	総務常任委員会	不採択
「現行保育制度に基づく認可保育所の増設、保育・学童保育条件の改善、子育て支援施策の拡充と保育関係予算の大幅増額を求める意見書」提出を求める陳情	鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	急激な少子高齢化の進行のもと、すべての子どもたちの健やかな成長を保障するためにも、次世代育成支援は、行政の大きな責務であり、採択3人、趣旨採択1人、不採択1人で採択と決した。	総務常任委員会	採択 (意見書提出)



近藤大介議員

問 農産物加工施設が建設される。
① 必要性、目的は。
② 製品の販売計画、収支計画は。
③ 製造商品の主力はコロッケと聞く。町内のジャガイモの生産量は少なく、本場にそれで農業の活性化がはかれるのか。

答 森田町長

① 町内産品の高付加価値化による生産者所得の向上、形状の不ぞろい理由に規格外品として処理されていた野菜類の活用、地場における雇用の創出、大山ブランドの推進、食育の推進など。
② 操業初年度の売り上げ目標として約6000万円を見込んでいる。
③ コロッケもだが、主



3月に完成する農産物加工施設

町長
レトルトカレー・コロッケなど
農産物加工施設で作るものは

力としては、業務用を含むレトルトのカレーやどろみ物で、他に、メンチカツ・ハンバーグ・つくね等を計画している。使用する原材料は、町内産の牛肉・豚肉・鶏肉・キャベツ・玉ねぎ・ジャガイモ等14種類の野菜である。収穫までに時間がかかるものもあるが、生産計画を立て、町内農家に作ってもらおう。加工施設で扱う原材料は、地元のものを使えば、生産者に寄与できると考える。

どうなる恵みの里づくり

町長 事業は進めていく

問 ① 恵みの里づくり計画実現に向けて、公社が果たす役割は。
② 計画は、今年度が最終年になっている。恵みの里づくりが完成したとは言えない。今後、恵みの里づくり計画をどのように実現していくか。
③ 道の駅を生かした情報発信、観光地づくりが不十分ではないか。

答 森田町長

① 生産者所得の向上や雇用促進に直接寄与でき

人工芝グラウンドで合宿誘致を

町長 検討はこれから

る組織であり、計画実現に対し重要な役割を果たすべき組織であると認識している。
② 計画の進み具合は、点検を行っている。今年度が3年計画の最後だが、来年度以降も総合計画の見直しと合わせ、達成が不十分な事業は、計画を達成していかなければならないと考えている。
③ 十分でない認識している。今後、公社と二人三脚で体制を強化し、体験型観光の推進など具体的な事業展開をしていきたい。

問 山香荘のグラウンドを人工芝のサッカー場に

する構想があるが、整備の目的、概要は。
夕陽の丘神田・山香荘のグラウンドを含めた経営は、年間1000万円程度の赤字が特別会計から出ている。春夏の長期休暇のときは、中高生・大学生などの合宿等でフル稼働している。
人工芝で整備し直せば、芝の養生のためにグラウンド利用を制限する必要がなくなり、大山寺の旅館がスポーツ合宿を誘致するのに大変有効であり、県内の各種大会、中国5県の大変有利になると考える。

答 森田町長

まだ具体的な検討には至っていない。山香荘の活用は、さまざまな意見をいただきながら進めていきたい。

1月臨時議会

大山町議会体制を整える

議長に野口俊明氏、副議長に西山富三郎氏

大山町議会は1月18日、臨時議会を開き、故荒松廣志議長の後任として、議長に野口俊明議員、副議長に西山富三郎議員を選出しました。また、議会広報調査特別委員長に竹口大紀議員を選出し議会体制を整えました。



野口俊明議長



西山富三郎副議長

議長就任 あいさし

野口 俊明

私は、思いがけない荒松議長のご逝去により、議長に就任となりました。現在の経済環境においては、地方情勢は大変厳しく、また国政も不安定・不明確な状態です。わたくしたち大山町議会は、多くの問題に対処すべく、前議長が新たに設置された、3つの特別委員会にて議会活性化を行ってまいります。地域産業に活力を与えるために設置された、地域産業活性化調査特別委員会では、現在、産業の振興に向けて調査研究中でありますし、地域自治組織調査特別委員会では、少子高齢化で集落機能の低下が増大する現状を認識しながら、昨年9月に中間報告をし、3月定例会では、答申を出す状況までできています。議会改革調査特別委員会においては、革調査特別委員会においては、昨年9月、12月に中間報告を行い、議会改革として各種団体との懇談会の実施、議会報告会の開催、委員間討議の充実など数項目の取り組みをめざしています。大山町議会は、このような議会活動を通し、住民生活の向上、町政活性化、地域基盤の充実、農林水産業と商工業の振興、観光の振興、青少年の健全育成と幼児教育を含めた教育環境の充実、高齢者福祉の充実と弱者対策、人権問題など住民生活全般について「分かりやすい議会」「開かれた議会」を目指して議論を重ねていきたいと考えています。故荒松廣志氏のご冥福をお祈り申し上げながら就任のご挨拶といたします。

解説 議員の欠員について

この度、荒松廣志前議長の死去にともない大山町議会は一人の欠員を生じましたが、公職選挙法の規定により、現状では繰上げ補充・補欠選挙ともに行われません。繰上げ補充・補欠選挙が行われるのは次のような場合です。

- ①繰り上げ補充公職選挙法 第112条第5項
- ・議員の欠員が当該議員の選挙の期日から3か月以内に生じた時。

- ②補欠選挙公職選挙法 第113条第1項第6号 第113条第3項第3号
- ・議員欠員が定数の6分の1を超えるにいたった時（大山町は4人以上）。なお、特例として、議員の欠員が一人以上あり、町長選挙（他の選挙では行いません）が行われる時。

しめやかに荒松家・大山町議会の合同葬

昨年12月27日の年の瀬不慮の事故により荒松廣志議長がご逝去され、12月29日に荒松家・大山町議会合同で葬儀を行いました。

多くの方にご参列いただき誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

21年の5月、議長に就任され、「開かれた議会、質の高い議会を目指そう、あらゆる改革を積極的にやっつけよう、我々議員に与えられた任期は4年しかない。改革は一気に」を合言葉に議会改革を進められ、さあこれからという時の突然の逝去でありました。故荒松議長のご意志を引き継ぎ、大山町の発展につくすことこそが、議員としてのつとめでありま

故荒松廣志議長経歴

名和町議会議員を昭和49年4月20日から平成17年3月27日の市町村合併まで、6期・23年在職。主に、副議長・議会運営委員長・総務常任委員長を歴任。合併後、平成17年4月24日から大山町議会議員。

平成17年5月10日より議会運営委員長、平成21年5月11日より大山町議会議長。また、自治功労者として、西部町村議会議長会、鳥取県町村議会議長会、全国町村議会議長会より数多くの表彰を受けておられます。



西山副議長 全国議長会特別表彰

平成21年は全国町村議会議長会が創立60周年という記念すべき年に当たり、11月11日には記念式典が開催されました。この席上、功績のあった議員に対し特別表彰が行われ、西山副議長は、30年以上町村議会議員に在職した者として表彰の栄に選ばれました。（全国では353名、県内3名）



ありし日の荒松議長

- ・ 自分の地域に必要なこと
- ・ 保育所や学校への提案
- ・ 大山町活性化のアイデア

「声」を募集しています。

などが、いま募集中のテーマです。
ぜひぜひ投稿をお願いします。
投稿はハガキ・FAX・電子メールで！

ご不明な点がございましたら、
お問い合わせは議会事務局まで。
お気軽にお電話ください！
(TEL) 0859-54-5213

募集要項

(題) 10字以内
(文字数) 250~300字程度
(明記するもの) 住所・氏名・年齢・電話番号

(送付先) 〒689-3211 大山町御来屋328
(FAX) 0859-54-5214
(電子メール) gikai@daisen.jp



新山 通江
(新坪田)

木炭談義

たかが木炭談義ですが、
関心をお寄せいただけれ
ば幸せに存じます。
R・ベッカー博士の「電
磁波ネットの干渉を憂慮
する」と題するレポート
と同じ頃、東大医学部に
在籍中の山野井工学博士
が木炭をひっさげて、同
じテーマの研究論文をあ
る冊子に連載されていま
した。私が備長炭の虜
になったのは、もう十年
の昔になったその折から
でした。

例え、他に突出して
陰イオンを多量に放出す
る備長炭が、生命体すべ
ての細胞を賦活させると
明言し、一方、何の対策
もとられなかったネズミ
の場合、60ヘルツの電磁
場に一か月さらすだけで、
決定的な結果に陥るなど
と報告されています。
十年後の今、これら生
体に及ぼす脅威は解決し
たのでしょうか。



永島 幸範
(あけまの森)

住みたい、 住める大山町

春夏秋冬、大山はいつ
の季節も、冬景色も最
高です。知人は、口を揃
えて「いいところだね」と
言ってくれます。
しかし大山の冬は本当
に大変なんです。昼間
も20〜30センチ積もる
は当たり前、家の周りの

雪かきも半端ではありま
せん。道路の除雪は遅い
時は9時前です。以前は
7時には除雪されてい
ても冬でも松江にも通勤可
能だったように思ってい
ますが、最近はそうはい
きません。
地方財政圧迫の折、効

率中心の行政は過疎や人
口減少を食い止める特効
薬にはなりえないと思っ
ます。ライフラインの創
造・確保は、地域と活力
創造の源です。住み続け
られる大山町として発展
するよう希望します。



前田 美波
(下田中2区)

児童館の存在

我が家は共働きの核家
族、子どもが3人います。
寂しく過ごすであろう放
課後を、地域の方も集う
児童館で楽しく過ごせて
います。
家ではつい「散らかし
て…」となりがちな工作
お絵描き、部屋中に広げ
られるおもちゃも、児童
館では目いっぱい活動を

繰り広げられ、時には職
員の先生をおぼけにおぼ
け屋敷もしています。
季節の行事を始め様々
な活動が企画され、2歳
の娘も「早く児童館に行
こうよ！」とせかしてく
きます。
そこには、子どもの思
いに寄り添い温かく見守
って下さる職員の先生、

地域の方の姿が感じられ、
とても感謝しています。
子どもが集う姿が見ら
れにくくなった最近、我
が家の第2の家庭となり
地域の子育ての拠点とな
る児童館の存在は誇るべ
きだと思えます。
是非、多くの方に利用
して頂きたいです。

あとがき

明けましておめでと
うございます。新たな
気持ちで新年を迎えら
れたことと幸いです。
新成人の笑顔や若さ
とパワーに接し、前向
きに生きる姿を頼もし
く思いました。若者が
夢と希望を持ち、喜ん
で定住してくれる町づ
くりを推し進める事が、
これからの本町の重要
な課題ではないかと思
います。
町民の皆様は議会の
活動に関心をもってい
ただくために『見てわ
かりやすい』紙面づく
りにしたいと、広報委
員一同、編集作業に取
り組んでいきたいと思
います。ご愛読をよろ
しくお願い致します。
皆様の率直なご意見
やご感想をお待ちして
おります。

杉

《発行責任者》
議長 野口 俊明

《広報委員会》
委員長 竹口 大紀

副委員長 大森 正治

委員 西山富三郎

委員 池田 満正

委員 杉谷 洋一

委員 米本 隆記